

## 平成27年度事業報告及び決算報告、監査報告

### 【本部及び全事業に関する報告】

平成27年度は就労収入、利用実績ともに伸ばすことができました。特に「すてっぷはうす」は就労収入で前年比147.5%、平均実利用者数で一日あたり2.5人増、また、「サンライズ」も平均実利用者数が一日あたり2.7人増と大きく実績を伸ばしました。

#### 1. 本部事業

(1) 評議員会開催 3回（5月25日、12月18日、3月25日）

理事会開催 3回（5月25日、12月18日、3月25日）

(2) 監査の実施状況

①合志市による社会福祉法人指導監査 11月17日

②貞内監事による業務監査 10回（6月3日、6月9日、6月19日、7月28日、9月17日、10月20日、11月5日、11月17日、1月22日、2月26日）

(3) 広報誌発行 3回（6月、11月、3月）

(4) 苦情解決の取り組み

・受付担当者等の受付件数 3件

・解決件数 3件

意見内容	受付件数	解決件数	未解決件数	備考
職員（利用者も含む）の言動態度	2	2	0	
施設の方針	0	0	0	
施設整備の改善	0	0	0	
その他	1	1	0	
合計	3	3	0	

#### 2. 主な整備・資産処分

今年度固定資産として整備したものは以下のとおりです。

##### 【整備】

平成27年4月27日	土地伐採・伐根整地工事	2,442,000	
平成27年4月30日	ノート型PC	572,724	金額は5台合計
平成27年5月20日	職員等駐車場砂利敷設	648,000	

平成27年7月	泉ヶ丘ホーム畳替え	120,528	2部屋分
平成27年10月30日	LED厚み検知器	1,620,000	丁合機部品
平成27年10月30日	スタッカ・エレベータ	540,000	丁合機付属品
平成27年10月30日	高圧ケーブル・高圧機器	950,400	キュービクル
平成27年12月7日	ガス給湯器	139,860	黒石原荘
平成28年3月28日	三菱冷蔵庫	225,720	

#### 【資産処分】

平成27年度の資産処分はキュービクルの更新で、資産価値は0円でした。

### 3. 職員の採用・退職

- ・退職1名（B型常勤職員1名）
- ・採用2名（移行型常勤職員1名、調理員1名）

#### 4. 職員数（平成28年3月1日在籍数）

職 種	人数	備 考
施 設 長	1	
副施設長	1	
事 務 長	1	
サービス管理責任者	1	
生活支援員・サービス管理責任者（兼任）	2	
生活支援員・職業指導員	16	サンシャインワークス（A型）6人 すてっぷはうす（B型）4人 サンライズ（移行型）4人 風見鶏（生活訓練）2人
事 務 員	3	
調 理 員	2	
グループホーム世話人	4	全員業務委託
合 計	31	

※他に産業医1名、臨床心理士1名、管理栄養士1名（全て委託）

#### 5. 寄付いただいた団体・個人様

ご寄付をいただき、誠にありがとうございました。

お名前	寄付用途等
廣野 立一 様	新 米
アグリカルチャサービス 様	野菜やくだもの
三菱電機 熊菱会 様	冷蔵庫
岡崎 誠子 様	耕運機
岡崎 誠子 様	法人運営のため
後藤 一俊 様	利用者さんのため・学習支援のため
横山 孝之 様	法人運営のため

## 【平成27年度事業活動報告】

### 事業全体の取り組みの結果

#### 1. 年間平均利用者数

月 事業別（定員）	年間平均実利用者数 単位：人（ ）内はH26年度	
サンシャインワークス（A型）（30）	24.7	（25.9）
すてっぷはうす（B型）（20）	15.1	（12.6）
サンライズ（移行型）（10）	12.6	（9.9）
風見鶏（生活訓練）（10）	3.3	（5.0）
合 計（70）	55.7	（53.4）

月 事業別（定員）	年間平均実利用者数 単位：人（ ）内はH25年度	
黒石原荘（10）	6.6	（7.1）
泉ヶ丘ホーム（4）	3.0	（3.3）
すずかけ台ホーム（5）	4.7	（4.4）
合 計（19）	14.3	（14.8）

#### 2. 就労事業収入

事業別	売上高（千円）	前年比	予算比
サンシャインワークス（A型）	68,217	103.2%	104.7%
すてっぷはうす（B型）	5,472	147.5%	136.8%
サンライズ（移行型）	2,641	100.5%	132.1%
合 計	76,330	105.4%	106.4%

- （1） A型においては、グリーンコープ様組合員さんの増加に伴う丁合業務での定数増や、コーヒー事業の大幅な伸びがあり、収入を伸ばすことができました。
- （2） B型では、古閑産業様等既存のお客様から新規受託業務が大幅に増えたこと、学用品販売様の卒業証書梱包業務など新たな受託業務を開発できたことなどが、大幅な収入増につながりました。
- （3） 移行型では、作業訓練以外の分野での活動を増やし、総合的な職業能力向上を目指しました。結果として収入は微増となっております。

### 3. 支払賃金・工賃

- (1) A型における平均賃金は97,299円で、前年度を上回ることができました。(平成26年度実績94,775円)。体調の面から出勤率が低かった従業員さんもいましたが、全体からするとその比率は下がっており、また最低賃金が677円から694円へと17円引き上げられたことが主な要因考えています。
- (2) B型における利用者の工賃は、前年度同様1日あたり1,000円でした。
- (3) 移行型における利用者の工賃は、前年度同様1日あたり600円でした。

### 4. 余暇活動・健康管理および安全・衛生管理

#### ①主な行事

- |               |          |
|---------------|----------|
| ・障がい者スポーツ大会   | 5月17日    |
| ・サンシャインフェスタ   | 9月5日     |
| ・日帰り旅行(人吉)    | 10月16日   |
| ・忘年会          | 12月5日    |
| ・旅行(1泊2日 福岡県) | 2月13・14日 |

#### ②安全・衛生、健康管理面

- |                                  |     |
|----------------------------------|-----|
| ・産業医による面談                        | 毎月  |
| ・熊本赤十字病院及び<br>熊本県総合保健センターによる健康診断 | 年1回 |

### 5. 見学・実習の受入れ

主に支援学校から350名の見学と45名の実習生を受け入れました。内訳は下記の通りです。

#### ・見学者内訳

種別	人数
支援学校	265
他事業所	25
関係団体(育成会等)	43
個人	17
合計	350

#### ・事業所別実習生内訳

事業所	人数
サンシャインワークス(A型)	18
すてっぷはうす(B型)	12
サンライズ(移行型)	12
風見鶏(生活訓練)	3
合計	45

また就労移行支援事業では、一般事業所実習に力を入れ、実習を通して就職に結びつくことが出来るよう支援しました。実習先については14ページをご参照ください。

## 6. 職員の資質向上（施設内研修）

(1) 施設内全職員研修会（月1回開催）

(2) 施設外研修会参加及び研修報告会

・ 県および県社協主催研修会 22件 38人（のべ）

・ 県内関係団体主催研修会 8件 15人（のべ）

(3) 委員会活動

・ 広報委員会（月1回開催） ・ 行事委員会（月1回開催）

・ 研修委員会（月1回開催）

(4) 定例施設内会議

・ 所長会議（月1回開催） ・ 職員会議（月1回開催）

・ グループホーム会議（月1回開催）

## 7. 主な設備整備（4ページをご参照ください。）

## 事業別報告

### 1. サンシャインワークス（就労継続支援A型）

(1) 生産事業 売上68,217千円（前年比101.8%、前年度決算66,076千円）

本年度の丁合関係では単協様による組合員数の拡大により、売上げを伸ばすことが出来ました。また、珈琲事業では通年で春夏の売上げに対して、個人様の注文等が多く入った関係で、売上げを大きく伸ばすことができました。施設外作業では、ユニット支援を利用者2名より3名に増員しました。

（単位：千円）

受注先	売上額
1. 丁合作業	59,442
2. 施設外作業	1,196
3. 珈琲事業	6,393
4. その他	1,186
合計	68,217

(2) 利用者支援

#### ①作業能力レベルアップ

##### ・個別支援計画書作成

半年ごとに本人とモニタリングを行い、目標の達成度を確認。同時に評価を行いました。新プランは本人主体で作成しました（毎月、数名ずつ実施）。

##### ・給与（時給）

熊本県の最低賃金677円（平成27年10月以降694円）に合わせて、給与の支払いを行いました。

昨年に引き続き、8名の方について最低賃金減額の特例を受けました。

##### ・年間賞与（平均1.8ヶ月）

勤務評価に基づき、勤務能力に応じて支給を行いました。

##### ・定員（30名）

平成27年度は4月に新入社員1名（支援学校より）を迎え、29名でスタート致しました。平成27年7月に入社・退職が1名ずつあり、平成28年1月にも1名退職されています。

・賃金支給の状況

月額（平均）	内 容	【参考】26年度
97,299円	時給677～700円（最低賃金特例除外者除く） 賞与年間1.8ヶ月（平均）（6月、12月）	94,775円

②社会的自立レベルアップ

- ・適切な社会生活が送れるように支援（コミュニケーション能力や協調性の指導）を行いました。
- ・朝礼時には、一日の目標として「本日の一言」を設定し、作業・社会性・協調性など様々な面での意識の向上を図りました。

③一般就労について

- ・平成27年7月に1名の利用者の方が一般就労先へ雇用となりました。それに伴い7月をもって退職となりました。

(3) 実習生の受け入れ（全事業）

支援学校を中心に実習生を受け入れました。夏休み中の実習も行いました。実習生のうち3名が平成28年度より利用されることになりました。

・実習生の受け入れ状況

学校名	のべ人数	A型	B型	移行型	生活訓練	備考
ひのくに支援学校	6	5		1		卒業後H28年4月よりA型利用1名
菊池支援学校	9	1	6	1	1	
大津支援学校	4	1	1	2		卒業後H28年4月より移行型利用2名
熊本支援学校	1	1				
黒石原支援学校	2				2	
松橋支援学校	2	2				
菊池支援学校中学部	3			3		
西合志中学校	4	4				
西合志南中学校	2		2			
菊陽中学校	3			3		
合 計	36	14	9	10	3	

※サンライズよりA型へ実習者3名あり。

(4) 行 事（主なもの）

障がい者スポーツ大会（5月）、祭り（9月）、忘年会（12月）、社員旅行（2月：福岡スペースワールド）などを実施致しました。



(5) その他

平成27年6月にA型家族会を多目的ホールにて開催いたしました。

2. すてっぷはうす（就労継続支援B型）

(1) 就労活動 売上5,471,582円

- ① 雑穀米袋つめ、きな粉等の粉物の袋詰め、シール貼り作業（古閑産業様）。
- ② だしスティック袋つめ作業、再春館製薬所関連業務（釜屋様）。
- ③ DM作業、学校の卒業証書梱包作業（松美堂様、ホープ印刷様、熊本県学用品販売様）。
- ④ 精密機械の搬送用ダンボール部品製作（三菱ロジスティクス様）。
- ⑤ イベント時の販売（障害者スポーツ大会、菊池支援学校行事での販売など）。
- ⑥ お茶の袋詰め（のだ香季園様）。
- ⑦ 施設外清掃作業（ままとこキッチン様）。

※既存の取引業者様からの受注量（新商品含む）が増えたこと、および新規作業の熊本県学用品販売の卒業証書梱包作業により、就労収入の大幅増につながりました。また、利用者様が増えたことにより、各業者様からの重複した作業スケジュールであっても対応することが出来ました。今後も色々な作業を行い、利用者様の工賃向上につながる様、努めて参ります。

(2) 余暇活動

① 1日見学旅行

平成27年度は、「SL人吉」に乗って、青井阿蘇神社に社会見学へ行きました。初めてSLに乗る方が大半でしたので、車中ではとても賑やかに過ごしていました。青井阿蘇神社では利用者様それぞれが、ご家族のこと、自分のことなどを参拝する姿もみられました。

② カラオケ大会、クリスマス会、茶話会等はお菓子作りと合わせて楽しみました。祝日を利用しての半日の外出では、伝統工芸館などに行き色々な製品を見て楽しむとともに、自社製品のアイデアも皆で思い浮かべていました。

③ 公園散策、ウォーキングなどは定期的に行う事が難しくなりましたが、季節ごとの草花や、風景を楽しみ気分転換を図ることができました。

④ 手工芸（裂き織り、木工等）では、数々の販売会を経験したことで売れ筋の商品もわかったので、それらを集中的に量産しました。その中で、何点かの新商品も製作しました。

⑤ サンシャインフェスタでは、皆でダンスを披露しました。1ヶ月前から朝礼などの時間を使い練習を重ねていたの、見ている方にも満足頂けたと思います。披露した利用者の皆様においても、とても楽しんでいました。陶芸や、木工製品などの即売会も行い、ご好評頂きました。

(3) 実習生の受け入れ

他事業所と同様、支援学校の生徒さんには今後の進路決定に向けての情報提供になったのではないかと感じています。また中学生の職場体験実習では、福祉事業所の様子を肌で感じとってもらうための良いチャンスになったと思います。

(4) 利用状況について

平成27年度は定員20名に対して、在籍19名でスタートし、最終的に在籍22名で年度を終えました。年度末の3月の一日平均利用人数が約16名で、他の月も類似した数値となっています。定員数に対して、在籍者数が上回っておりますが、利用率の面から今後の受け入れも十分可能な状況です。

(5) その他

- ・ご家族との支援計画についての面談を6月と12月に実施し、家庭での様子、今後の支援について意見や情報の交換を行いました。支援計画は6ヶ月毎に評価、再検討を実施しています。
- ・相談支援事業所の相談員の方との連携も取れています。

### 3. サンライズ（就労移行支援）

(1) 進路状況

27年度は、新規利用開始者15名、利用終了者18名と例年以上に入れ替わりの多い年となりました。利用終了された方の進路先は下表の通りです。一般企業以外もありますが、ご本人やご家族の希望、適性を一人ひとり見極め、十分に検討を重ね決定しました。その後の定着状況も良好です。終了生の定着支援として、離職後の再利用の受け入れも行いました。

また、今年度は、二つの新しい行事に取り組みました。9月の宿泊訓練。2月の大同窓会。これらの行事からも大きな収穫を得ることができ、毎年恒例行事と予定しており、楽しみにしています。

利用者の進路状況（18名）

終了者	就職月	進路先
Aさん（男性）	平成27年4月	熊本県庁
Bさん（男性）	平成27年4月	A型事業所 風の森
Cさん（男性）	平成27年4月	B型事業所ハピネスワーク（アセスメント利用）
Dさん（女性）	平成27年6月	株式会社 共同（ままとこキッチン）
Eさん（女性）	平成27年7月	A型事業所 サンシャインワークス
Fさん（男性）	平成27年7月	菊南病院
Gさん（男性）	平成27年9月	熊本市教育委員会事務局
Hさん（男性）	平成27年9月	B型事業所 すてっぷほうす
Iさん（男性）	平成27年10月	菊池支援学校（アセスメント利用→サンライズ）
Jさん（女性）	平成27年11月	入院
Kさん（男性）	平成27年12月	自由が丘病院
Lさん（男性）	平成27年12月	熊本北郵便局
Mさん（男性）	平成28年1月	有限会社 オーエス収集センター
Nさん（男性）	平成28年1月	株式会社 えがお
Oさん（男性）	平成28年3月	B型事業所 すてっぷほうす
Pさん（男性）	平成28年3月	B型事業所すてっぷほうす（アセスメント利用）
Qさん（男性）	平成28年3月	自宅療養
Rさん（男性）	平成28年3月	入院

## (2) 就職活動実績

上記以外にも採用には至りませんでした。が、受験した企業、実習や見学を受け入れてくださる企業を開拓しました。また、企業以外にも公的機関やA型事業所の実習・見学も積極的に行ないました。

### ・利用者の採用受験・実習・見学状況

採用受験・実習・見学事業所名	のべ 人数	採用受験・実習・見学事業所名	のべ 人数
株式会社 共同	1名	A型 ジョブパートナー	6名
熊本北郵便局	2名	A型 ほっこりの里	2名
株式会社 CES	3名	A型 あいのわ	3名
菊南病院	1名	A型 天使の郷	2名
自由が丘病院	1名	A型 G I C	1名
サンワアルティス株式会社	2名	A型 オアシス	2名
熊本県庁	2名	A型 風の森	2名
株式会社 えがお	1名	A型 にこ	1名
有限会社オーエス収集センター	1名	A型 ジョイナスコーヒー	1名
ハローワーク主催 合同面接会	1名	A型 青生会	1名
一本松荘	1名	A型 サンシャインワークス	3名
スポーツデポ 熊本インター店	1名	B型 さくらワーク	1名
デイサービス ほほえみのもり	1名	B型 白鳩園	1名
ディスカウント トライアル	1名	B型 サニーサイド	2名
熊本市教育委員会事務局	1名	B型 テクニカル工房	1名
生活訓練 風見鶏	1名	B型 すてっぷはうす	3名
古閑産業 合資会社	毎日 1~2名	生活協同組合 くまもと 合志店・尾上店	毎月 12名程

## (3) 実習生の受け入れ

7ページ右表を参照してください。この中の3名が28年度からの利用となりました。

## (4) その他（施設内・外日常活動）

活動項目	内 容	頻 度
ハローワーク訪問	登録、現状報告の面接、求人票の検索、障害者求人票の取得	月に1～2回
就労・生活支援センター相談	登録、現状報告の面談	随 時
障害者職業センター相談	登録、職業評価、相談	随 時
相談業務	個人面談、保護者面談、電話相談	随 時
履歴書書き	個人の手本を用意し、一枚を書きあげていく	随 時（就職試験、実習前は特に集中する）
面接練習	実際に面接を行い、服装、態度、返事の内容など個別に指導する	随 時（就職試験、実習前は特に集中する）
座 学	社会人の心構えマナー、自立のための学習、給料の使い方など	随 時
金銭管理	希望者に出納帳の記入を促し、管理を行う	随 時
自主学习	各自希望の学習を行う	毎 日
体力づくり	毎朝のラジオ体操、ウォーキング	毎 日
余暇活動	図書館利用、調理実習、買い物実習、物作り、終了式、ゲームなど	随 時
宿泊訓練	生活面の訓練を行う目的 天草青年の家 20名参加	9/22～9/23
同窓会	終了生との連携の強化を目的 多目的室 61名参加	2/11
スマイル劇団の参加	希望者が劇団練習に参加する	随 時
作業訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式会社 万彩路</li> <li>・ホープ印刷株式会社</li> <li>・株式会社 共同</li> <li>・古閑産業 合資会社</li> <li>・株式会社 フジバンビ</li> <li>・株式会社 松美堂</li> <li>・株式会社 啓文社</li> <li>・小山 株式会社</li> <li>・グッドハート 株式会社 他</li> </ul>	様々な企業様より、サンライズとしてお仕事をいただき、訓練として役立てています。
就労先巡回	利用終了後の進路先への巡回を行い、定着を図る	随 時

#### 4. 風見鶏（生活訓練）

##### （1）支援内容充実のための取り組み

- ・様々な利用者の方が安心して活動できるような幅広い活動・訓練プログラムを取り入れました。特に利用者の方の社会性や生活性を高める支援を行いました。
- ・実習や作業訓練を通して、他事業所と連携した活動・支援を行いました。  
今後も様々な訓練や活動を通して一人ひとりに寄り添った支援を行うよう心がけます。
- ・3か月毎にモニタリングを行い、利用者の方の達成度を確認しました。
- ・月に一度の定例会議や綿密なコミュニケーションを通して、支援内容やメニューの充実化を図るとともに職員の支援力の向上に努めました。

##### （2）より多くの方にご利用いただくための取り組み

- ・定期的に（月に1回程度）支援学校、相談支援事業所、関係機関を訪問し、事業所の活動を積極的にアピールするとともに、利用に繋がるような働きかけを行いました。実績は定員10名に対して登録利用者は最大で7名にとどまり、実際の利用状況は3.5名/日でした。支援学校卒業生の利用が少なく、前年度実績(5.0/日)を大きく下回りました。
- ・実習生を積極的に受け入れるとともに事業体験・見学会やサマートライワーク等を通して事業のアピールを行いました。利用に繋がりませんでした。今後は事業のアピール活動として特に医療関係機関との連携を強化していきます。また過去の実績を資料にまとめ、PRに活用するなどの工夫を行う予定です。
- ・知的障がいの方（支援学校卒業生）・発達障がいの方（在宅の方）・精神障がいの方（退院後の方）を想定したプログラムを取り入れました。今後は特に精神障がいの方が社会復帰する際の利用を想定し、S S T（ソーシャル・スキル・トレーニング＝コミュニケーション技術の向上をめざす生活技能訓練）や作業訓練など精神障がいの方に必要と思われるプログラムを取り入れる予定です。

##### （3）訓練活動計画

- ・主な訓練として「マナー訓練、S S T、座学（週に1回）」、「調理訓練（週に1回）」、「掃除訓練（毎日）」、「作業訓練（毎日）」、「買物訓練（週に1回）」、「外出訓練（月に2回）」、「公共施設の利用（月に2回）」等を実施し、社会性・生活力の向上を図りました。

##### （4）余暇活動計画

- ・週に1度、「心を豊かにする活動」として、絵画・習字・カラオケ・陶芸・木工・DVD鑑賞等を行いました。

- ・毎日、体力づくりの「運動」として30分程度のウォーキングを行いました。
- ・定期的にお菓子作りや誕生会等のイベントを実施しました。
- ・上記の訓練活動と余暇活動を並行してプログラムを作り、楽しい活動と自立に繋がる訓練の両立を図りました。

#### (5) その他特記事項

- ・3か月毎に個別支援計画を作成し、本人・ご家族との面談を通してより良い支援を行うよう心がけました。
- ・2年間の訓練の中で、一人ひとりに合ったその後の就労の形（A型・B型・移行型）を十分に検討し、先々を見据えた将来に繋がる支援を心がけました。その結果、3名の方が無事に利用期間を終了されました。

Aさん～就労移行支援事業所「サンライズ」へ

Bさん～就労移行支援事業所「サンライズ」へ

Cさん～就労継続支援B型事業所「すてっぷはうす」へ

## 5. グループホーム事業

### (1) 自立への支援

- ・入居者の意向が変更の際、相談事業所と連携し、入居者本人を交え、面談や相談を行い、一人ひとりに対して支援しました。
- ・個人ごとに個別支援計画書を作成し、各々の目標達成を目指して支援を行いました。半年ごとに本人とモニタリングを行い、目標の達成度を確認、同時に評価を行いました。（6月、12月）
- ・朝、夕食の提供を行い、必要に応じ弁当、昼食提供も行いました。
- ・入居者一人ひとりに応じた支援（金銭管理、衛生管理など）を行い、自立に向けてお金の大切さや、整理整頓の仕方などを支援しました。
- ・緊急時および災害時避難訓練、通報訓練を月一回実施いたしました。
- ・必要に応じ、病院同行を行い、健康管理にも配慮しました。
- ・生活全般において、規則正しい生活が送れる様助言等を行い、ホームのルールを守る大切さを伝え、支援しました。

### (2) 地域住民の一員として地域交流支援

- ・近隣で開催される行事やレクレーションへ参加しました。  
（清掃作業、夏祭りなど）

### (3) 人生の質を高めるための支援

- ・色々なイベントなど声掛けを行い、一緒に参加しました。

- ・調理訓練や園芸など、個々に興味のある分野の活動を行いました。
- (4) 一市民としての権利が保障される配慮
- ・入居者のプライバシー確保に努めるとともに、行政手続きや病院受診などへの同行支援を行いました。
- (5) 家庭、保護者との連絡を取り共同生活の充実を図る
- ・必要に応じてご家庭と連絡を取り合い、入居者本人の共同生活が充実する様、連携し支援を行いました。

## 6. その他（給食・送迎）

### (1) 給食

適正な栄養が確保され、個人の嗜好や食欲に配慮し、なごやかで楽しい食事の提供を心がけました。

①食材や食品衛生に細心の注意を払いました。

- ・カルシウム摂取の増加（乳製品、海草類、緑黄野菜の摂取）
- ・残飯、残菜の減少
- ・個人に応じメニューの変更 たとえば乳製品が苦手なの人の別メニューやご飯の量を加減するなど

②調味料のかけ過ぎに注意するなどの食事指導をして、生活習慣病の予防を指導しました。

### (2) 送迎

送迎は次のコースで実施しました。

B 型…集合場所まで送迎しました。（武蔵ヶ丘コース・御代志コース）

移行型…集合場所まで送迎しました。（武蔵塚駅コース）

生活訓練…自宅まで送迎しました。（西合志・泗水コース・泉ヶ丘団地コース）

※A型は基本的に自力通勤とし、祝祭日のみバスの時刻が始業時間に間に合わないため、武蔵塚駅まで送迎しました。

## 7. 「地域の学習教室」活動報告

①期 間：27年度は9月から3月まで

②実施日：毎週土曜日2時から3時

③生徒数：小学生6名 中学生5名

④支援者：12名（うち当法人職員2、理事評議員2）。一日(回)あたり平均4名で指導にあたりました。



- ⑤内 容：宿題中心。生徒本人が持参したドリル。月1回、リズム体操実施
- ⑥保護者との関係：4月より中学3年生になる生徒の保護者との3者面談を実施しました。他の保護者の感想は「家庭では勉強する環境が無い」または「1人では勉強しないので、学習教室に来た時間だけでも勉強できるのでありがたい」、「塾に通うのは経済的に厳しいのでここで勉強できて助かる」などがありました。
- ⑦その他：「地域の学習教室」における学習支援員との意見交換会（県子ども家庭福祉課、県母子寡婦福祉連合会の主催でH28. 2. 6開催）には、当教室からも支援者4名が参加し、取り組み事例の発表を行いました。

#### 収支報告

収 入	県よりの助成金(9月から3月までの7ヶ月間)	68,600円
	その他収入	4,172円
支 出	教材費等	4,772円
	支援員交通費(1回 1,000円)	68,000円
	<u>収入 72,772円 - 支出 72,772円 = 0</u>	

## 8. ひまわりプロジェクト報告

平成27年度に取り組んだ「ひまわりプロジェクト」につきまして、写真を添えて報告します。



2015. 4. 23 200坪開墾し、畝を作る



2015. 5. 5 種蒔き



2015. 5. 14 発芽



2015. 6. 4 すくすくと成長中



2015. 6. 23



2015. 7. 6 開花始まる



2015. 7. 20



2015. 7. 23



2015. 7. 23



2015. 7. 23



2015. 8. 4 子どもひまわり大使訪問



子どもひまわり大使



利用者みなさんとの交流



サプライズでくまモン登場



2015. 8. 13 立ち枯れ 始まる



2015. 8. 24 種取り



集まった種



2015. 8. 28 種天日乾燥



福島へ35キログラム発送する